

2021年7月20日

逗子市

**逗子市内の医療機関で
ワクチンの廃棄処分が発生しました**

令和3年7月19日（月）、逗子市の新型コロナウイルスワクチンの個別接種を実施している医療機関で、ワクチン21バイアル（126回分）が再冷凍された可能性があるため、廃棄処分となりました。

1. 経緯

個別接種を行う医療機関には、逗子市役所から冷蔵でワクチンを移送しています。7月16日（金）にワクチンを受け取った医療機関が、ワクチンを冷蔵庫の冷蔵室に入れましたが、19日（月）の朝に確認したところ、ワクチンのうち一部のバイアルが凍結していたため、廃棄しました。なお、ワクチンは使用していません。また、19日（月）に使用するワクチンは直ちに市から移送しています。

2. 原因

この医療機関が使用していた冷蔵庫は、冷却用のパイプがある奥の壁付近に物体を置くと、凍結するおそれがありました。ワクチンは奥の壁付近に置かれており、再冷凍となった可能性が高いと思われます。

3. 再発防止策

この医療機関において、ワクチンの冷蔵室内の保管場所を変更するとともに、市においては、今回の事例を医療機関と共有し、適正な管理を求めます。

本件に関するお問い合わせ先：

電話：046-873-1111

福祉部国保健康課 廣末・稲井 内231